

「注」の処理



週刊朝日百科の『日本の国宝シリーズ』全111冊を一人2冊担当することにして製作にかかっていますが、この本の注の処理で混乱がみられましたのでとりあげます。

この本の製作規準には注の処理として

「欄外にある注は適当なところで、注・・・注終わり、と読み込む。但し、注については、語句の再掲があるので本文中では注をコメントしなくてもよい。」としたら、注の処理が二通りに分かれてしまいました。

「本文中では「注」をコメントしないでよい」とあるので、「注、注終わり」をまったく言わずいきなり注を読まれる方がありました。

実際の処理としては、文章の区切りのよいところで、「注」「注終わり」を言って注を読み込み、仮に文章中に「この言葉に注がありますよ」という意味の「注」の印があっても、その場では「注という言葉は言い添えない」というものでした。

普通、文章中に注がある時の処理は、注が付いている言葉のところで「注」と読み（言い添える時には注が立たないように声を低くする）、くぎりのいいところで「注・・・、注終わり」と読みます。もちろん、「注」が文章の終わりについているような時にも、「注」（ここに注がありますよという意味）、「注・・・注終わり」と読みます。（つまり「注」は2回言うことになります。・・・最初は立てず声を落とし、あとの注は立てる）しかし、『日本の国宝』では語句の再掲がかならずあり、注の印も本文ではほとんどないので、出来るだけすぐ近くで注を入れることにしたのですが、ちゃんと伝わらず、何人かが「注」「注終わり」を割愛されてしまいました。文章のまずさもありますが、「注」の処理一つとっても、まだ全体の共通の認識になっていないことに改めて気付かされた次第です。

文章の中に出てくる「注」の処理はいろいろ音声訳者を悩ませます。特に文章の途中にある注の場合、それが語句を補足するようなもので少し長い時などは、注のある箇所を読み込むと文章の流れがとぎれてしまいます。できる限り文章のながれを妨げないよう心がける必要があります。

今回は、再度、注の処理の例を掲載します。

I. 注の種類

1. 用語の解説や補足
2. 参考文献
3. 引用文などの出典
4. 教科書などに見られる脚注や頭注のような本文の要点や重点語句の再掲

1の処理方法としては、出来るだけ近くで入れ、活用を図る。2や3などは区切りの良いところで読み込むこともあるが、別巻などにまとめ注を聞きたいときに聞けるようにする方法もある。引用文献の出典や参考文献などが章単位、或いは最後にまとめてあるものを、本文の中に読み込む場合、本文を分かりにくくすることもあるので慎重に処理する。外国の翻訳本などで引用文献などの出典を巻末に数頁にわたって掲げていることもあるが、場合によってはカットすることもある。4などのケースは教科書など参考書などによくみられるが、それぞれ内容に即して処理を工夫する必要がある。

場合によっては重点項目などを先に読むこともある。

II. 注の処理例

1. 文章の中に注があってもその場で読まず、切りの良いところで注を読む

1-1. 注のついているところに「注」（または注番号）とだけコメントし、切りの良いところで注を読む。

最初の注は「この言葉（文章）に注がありますよ」という意味で「注」（または注番号）と言い添える。区切りのよいところで、「注」（注番号）を読んで注を読む。但し、この場合、注が文章の最後にある場合で、その場で読みはじめる時は、「注」は2回言うことになる。

1-2. 注の項目がハッキリしている時（注の語句が再掲してある場合など）は文章中は「注」とコメントせず、できるだけ近くで「注」といってから注を読むこともある。

2. 注の出た場所で注を読む

注の印のある場所で注を読み込む。注、注終わりをコメントする。

3. 注の種類によって処理を変える

説明的な注は、文章中の適当なところに入れ、本文に直接関係ないもの（例えば、出典や参考文献など）は、別に（章単位、最終巻などに）まとめる。

4. 注を別にまとめて読む

4-1. 章単位・本文の最後にまとめる。

・活用はほとんど出来ない。

4-2. 別巻にまとめる

- ・活用を考える。
- ・どの注であるか分かるよう別テープにも、注番号などを読み込み、本文中でも注番号を読み込む

5. 注の部分を省略する。

- ・洋書などで掲げられた文献が外国語のものは省略することもある。

III. 注意点

1. 本文中で注番号を読みこむときは、声を落として言い添えるようにする。
2. 注の処理で別テープにまとめた場合などは、録音図書凡例でその旨コメントする。
録音図書凡例
「注はその場で注番号のみを読み別巻にまとめて録音してあります。」この場合注がどんな種類のものかと言い添える方が親切。
3. 最初、文章中で注の場所を読み、後で注を読む場合、文章の終わりに注があってその場で読む場合、注は2回言う。
4. 注をその場で（あるいは文章の区切りのよいところで）読む場合、注につけられた注番号は省略することもある。
5. 出典などで「前掲書」とか「同」などとある時には、略せず、前の題名を読むように配慮する。「同」などと読んでは何のことか分かりません。
6. 文章の途中にある注を、その場で読み込むと文章の流れを止めることになる。本文の内容が混乱しないかどうかを検討する。短い補足などであまり影響がないようなケースでは考えらる。

先月の例文の処理例

熟字訓

漢字の表記が問題になっています。

「5月雨」とかいて→ ゴガツアメと書いて・・・

「時雨」と書いて→ トキニアメと書いて・・・

「紅葉」がモミジであり→ クレナイニハがモミジであり

「土産」がみやげ→ ツチニサンブツノサンがみやげ

など

箸のあげおろし

→昭和三十年をタテガキデSサンレイとかヨコガキデS30とか書く人がいます。

→いっそ堂々と、カンスウジデー九九二年とか、サンヨウスウジヨコガキデ1992とか書いてくれ。・・・

酔いしれる

・漢字の表記が問題になる

→「しれる」とは一体何か。漢字で書けば、チホウノチニ、れる

→古語の「領る」、シハセンリョウスルノリョウ、古語の領るの受け身形で・・・

小賀 古賀

→新たに古賀浩靖を加えることにした。オンセイヤクシャ注、イママデノコガハチイサイニガショウノガ、古賀浩靖のコガハフルイニガショウノガ、注終わり

9月1日 森田と小賀は古賀浩靖、カッコ、チイサイの小賀をチビ小賀、フルイの古賀をフル古賀と呼んで区別した、カッコトジ、オンセイヤクシャ注、以下、フルイの古賀は、フルコガと読みます。注終わり。森田と小賀はフル古賀を新宿一二社のスナックに誘い・・・

今日の練習問題

* () の処理

第4章がんとはなにか

・・・制御下におかれて、整然とそろった組織構築を保って、細胞本来の機能を発揮しています。しかしがん細胞は、細胞構造が正常細胞より大きかったり、配列がばらばらだったり、細胞核の構造がいびつでふぞろいだったりします。そして当然細胞の機能も、低下したりなくなってしまうたりします。がんの悪性度が高いほど、発生したもとの臓器や組織の細胞の形態とかけ離れた細胞構造になっています。これを、「脱分化性」といいます。

ではなぜ、ある細胞ががん細胞に変わるのか、これはたいへん大きな問題で、完全に説明できるところまで至っていません。これまで繰り返された発がん実験の結果から、有名な発がん二段階説という考え方があります。

この説は、最初皮膚がんが証明されましたが、現在ではいろいろながん当てはまるようになってきています。この説はどういうことかという、細胞ががん化するには、細胞の遺伝子であるDNAに変性をきたす作用(イニシエーション)が加わって、がん化の引き金が引かれ、その後、単独では発がんの可能性は少ないかほとんどないが、がん化のイニシエーションを受けた細胞をがんとして育てる力(プロモーター)の持続的な作用によって、がん細胞が育ちかつ定着するというものです。がん治療や予防を考えるうえで、たいへん重要な説です。タバコをはじめ私たちの身のまわりの食品添加物や大気汚染などは、発がんプロモーターとして作用していると考えていいようです。

それでは発がんのイニシエーターとして、なにが考えられるかということになります。最近10年あまりの研究で、発がんに関与するウイルスと、がん遺伝子が明らかになっています。発がんに関与するウイルスとして、現在五つのウイルスが明らかになっています。もっともはやく発見されたのが、伝

染性単核細胞症(ウイルスの感染によって起こる、急性の発熱と全身のリンパ節腫脹を伴う疾患をいいます。腺熱ともいいます)の原因とされるEB(Epstein-Barrウイルス、発見者の名前をとって名づけられている)ウイルスで、パーキッドリンパ腫(悪性リンパ腫の一種で、アフリカ大陸の南緯20度を中心に多くの発生が見られています。EBウイルスの感染でおこる悪性リンパ腫として有名で、ウガンダ地方の小児の悪性リンパ腫の大部分を占めるとされています。ウガンダで活躍したイギリスの医師、Denis Pasonns Burkitにちなんで名付けられた疾患です)、上咽頭がん、ホジキン病(悪性リンパ腫の一種です。悪性リンパ腫とは、全身のリンパ腺が腫瘍性に増殖してくる疾患を総称していいます。病理組織学的に、ホジキン病、非ホジキン病<大細胞型、中細胞型>と分けられています。一般的にはホジキン病の方が、病気の経過と予後はよいとされています)の原因となることが分かっています。日本の医学者が発見したことで有名ながんウイルスに、成人型T細胞性白血病(西日本地域とくに南九州と四国南部に、風土病的にみられる白血病で、リンパ球のなかのT細胞が腫瘍化した疾患です。その原因が、HTLV-1というウイルスであることが、日本人の学者によって、確定されたことで有名です。このウイルスは、授乳を通じて母子感染していくと確定されています)の原因となるHTLV-1というウイルスがあります。

「集団自殺」をとげたカルト教団からのメッセージ

インターネットで布教したヘブンズ・ゲイト

一九九七年三月、アメリカのカルト教団「ヘブンズ・ゲイト」*が教祖のマーシャル・アップルホワイト以下ほとんど全員(三十九人)で集団自殺をとげた事件は、社会に大きなショックを与えた。

特にインターネット社会の反応は大きなものがあつた。ヘブンズ・ゲイトは一般社会と隔絶した教団だったが、インターネットでは社会に密接につながっていた。大きな教団のページを開き、インターネットを主たる布教の手段にしていたばかりでなく、教団事務所は何十台ものパソコンを並べ、ホームページづくり、セキュリティ技術などを売り物にする会社をインターネット上に設立して、それで生計を立てていたのである。

プロバイダーと長期契約してあつたので、教団のホームページはまだインターネットに残っている。事件後たちまちアクセスが殺到し、回線がパンク状態になったが、このページを丸々デジタル・コピーして再送信するミラー・サイトがあちこちでできたので、いまでは誰でも見られるようになっている。

アクセスしてみると、さすがプロがつくつただけあって、なかなかのものである。表紙は二百十三ページに示してあるが、この“RED ALERT(急警告赤信号)”という文字がJavaで、点滅しながらこちらに近づいて大きくなるようになっている。天国の門の鍵穴の下には、

「二千年前にイエス・キリストとその父なる神のもとで天国の門

* 注の処理

ヘブンズ・ゲイト

1975年に設立された新興宗教。教祖のアップルホワイトは、米テキサスの牧師の息子として生まれ、コロラド大学で音楽修士号を修得。オペラ歌手を目指したが夢破れ、結婚生活にも失敗。病因で知り合った看護婦のポニー・ルウ・ネットルズと共にヘブンズ・ゲイトをつくった。信者はUFOの飛来を信じるUFOマニアが多い。

java

どのようなパソコンやOSの上でも動き、インターネットのWWWブラウザにおける情報の表示形式や動作を柔軟にかえられるプログラミング言語。

が開いたように、いま、ティとドウ(教祖夫妻のこと)の前に再び天国の門が開こうとしている」

と書かれている。

彼らの教義はすべてホームページに書かれているが、その分量が多いので、ここにはほんのエッセンスしか示すことができない。その教義に従うと、肉体の死は魂が縛りつけられていた容器からの解放だから、むしろ喜ぶべきであるという。魂の真の住み家は天国にある。天国には、人間より高次の存在が住んでいる。人間が神と呼ぶものはその高次の存在の一つである。

神は一人ではなく沢山いる。二千年前に天国の門が開いて、二つの高次の存在が地球に降り、イエスとイエスの父なる神と称したが、彼らはそれぞれ別の高次の存在である。

地球は高次の存在がつくった庭みたいなもので、人間の大半はそこに生えた雑草みたいなものである。その雑草が地球をダメにしたので、高次の存在は地球をリサイクル(滅亡させて作り直す)しようとしている。

人間の大半はただの雑草だが、一部に高次の存在がたまたま人間の肉体に宿っているというものがいる。地球のリサイクルの前に、高次の存在がそういう人々を宇宙船(UFO)で迎えにくるから、そのときは地球の人間の身体の中の高次の存在者は、肉体という衣を脱ぎ捨てていち早く宇宙船に乗りかえなければならない。

ヘール・ポップ彗星は、二千年ぶりに天国の門が開き、高次の存在である人間を迎えにきた宇宙船がそこまできているという報せである。地球といっしょにリサイクルされなくなかったら、いまその宇宙船に乗りかえなければならない。

この教団の人々はこういう教義を本気で信じていた。だから、誰も取り乱すこともなく集団自殺は冷静に行われた。

この事件をめぐるインターネット上で、大変な議論がまき起こっている。たとえば、「ヘブンズ・ゲイト」で検索してみると、「インフォシーク」で二十七万件、「ライコス」で四万件近くも出てくる。その中には、教団の教義全否定のカルト批判ページもあれば、教団にシンパシーを表明するページもある。

連邦政府ビル爆破事件も破壊的カルトが伏線に

アメリカは、世界で一番カルト宗教が多い国で、その中にはこの教団のように終末論的信仰を持って、集団自殺などの破滅的行為に走った教団がほかにもあるし、UFOに宗教的意味づけをする教団はほかにもある。また、「ヘブンズ・ゲイト」のように、宇宙には人間より高次の存在があって、人間も意識の次元を高めれば、その高次の存在と自由に交流できるようになるとする、いわゆる「ニューエイジ思想」を奉ずる人々が、宗教の教団としても存在するし、たんなる思想グループとしても沢山存在する。

インターネットは誰でも自由な発信ができるメディアだから、マスメディアならどこも相手にしてくれないような少数者が独自の思想を発信するのに最適のメディアである。だから、いろいろなマイノリティグループがそれぞれ勝手な発信をしているが、中でも多いのが政治的マイノリティと宗教的マイノリティである。

アメリカ版「ヤフー」で、「社会と文化」というカテゴリーを見るとサブジェクト別に・・・

ニューエイジ思想

合理性や秩序を求めた近代科学を批判し、非合理や無秩序なもの、部分的な心理よりも全体的心理を優先させる考え方、思想。

’98年度「音訳講習会」のご案内

盲人情報文化センターでは、音声訳ボランティアを養成する為に、下記の通り「音訳講習会」を行います。講習会修了者は家庭録音を中心に行って頂きますが、スタジオの空きが出来次第、順次、修了者の中からスタジオ録音にも入って頂きます。

講習会は前期と後期とに分かれ、前期の終わりには試験を行い、合格者のみ後期の講習会を受けて頂きます。

この「音訳講習会」に参加を希望されます方は、申込用紙に必要事項を記入の上、盲人情報文化センター録音製作係までお送り下さい。

尚、講習会の内容等についての説明会は4月23日（木）＜10時00分～12時＞に行います。また、試験日当日に都合で来館出来ない方は、担当者までご相談下さい。

（担当者 盲人情報文化センター録音製作係 清水）
電話 06-441-0015

’98年度「音訳講習会」実施要項

- | | | |
|---------------|--|---|
| 実施時期 | 前期 1998年5月28日（木）～9月10日（木）
※8月13日（木）は休み 15回
10：00～12：00 | 後期 1998年9月24日（木）～11月26日（木）
10：00～12：00 |
| 講習内容 | 前期 1. 音声訳の理念
2. 読み方の基本
3. 音声訳の処理
（最終回に試験） | 後期 1. 処理 ・外国語の処理
・図、表の処理
2. 家庭における録音技術
3. 録音図書の製作規準
4. 調査技術 |
| 定員 | 15名程度 | |
| 申込方法 | 申込用紙に記入の上、郵送またはご持参ください。
社会福祉法人 日本ライトハウス
盲人情報文化センター 録音製作係
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
電話 06-441-0015 | |
| 初回講習 | 1998年4月23日（木）
盲人情報文化センター 9階ホール 10：00～12：00 | |
| 申込締め切り | 1998年4月25日（土） | |
| 試験日 | 1998年4月30日（木）
盲人情報文化センター 9階ホール 10：00～12：00 | |
| 試験内容 | ①漢字の読み
②アナウンステスト
③面接
※筆記用具持参のこと（鉛筆、消しゴム） | |
| 発表 | 5月9日までに連絡 | |
| 講習開始 | 1998年5月28日（木）
10：00～12：00 | |

二通りの読みがあって意味が異なるもの (55)

孫子	ソウゴ マゴ	孫武の尊称 孫と子	端から	ハから 物事の最初から ハシから はし(ふち) から
上る	アがる カがる	高いところに行く 邦楽用語 音が高く なる。高くする	地方	チホ 全体社会の一部を構成する 地域 ジカ 室町幕府の職名。舞踊で 音楽を受け持つ人々の称
水手	スイシュ ミズテ	船の乗組員、船乗り 文字の尾を長くのば して水の流れのよう に書く書き方	気色	ケシ 眺め、風景 キョク 顔などに現れた心の内面 の様子。快・不快の気持ち

利用者から製作依頼を受けている原本

書名	<分類>
『世界史<超>暗記法』別宮孝史著	<教科書> 172頁
『世界史B98年度用大学入試センター試験超対策問題集』 湯川晴雄著	<教科書> 210頁
『JAPAN BAPTIST 第70号』日本バプティスト同盟	<宗教> 23頁
『JAPAN BAPTIST 第71号』日本バプティスト同盟	<宗教> 23頁
『灯 2月号』灯発行所	<詩歌> 41頁
『はじめての人のダンス・レッスン』竹村孝著	<ダンス>224頁
『これでも国家と呼べるのか』小室直樹著	<社会科学・行政>282頁
『ニュースキン徹底知識』伊勢龍彦著	<化粧品> 246頁
『IDNハンドブック 成分と作用がわかる本』伊勢龍彦著	<医学>
『IDNがあなたを守る これでガン・成人病は怖くない』ニューライフ出版	
『私のまわりは美しい』松井るり子	<教育> 四六判 205頁
『カメの衣・食・住』徳永卓也著	B5判 141頁
『ディスカバリー世界の実相への接近』	<宗教> B5判 308頁
『ヨセフとその兄弟 III』	<宗教>B4判 562頁

お詫び 今月は紙面の関係で引き受けて頂いた原本とグループの紹介は
次回にさせていただきます。